

【中国】

7-8月の市場動向トピックス

- 2021年7月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.6%減の3,900人であった。
- 2021年8月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.8%減の2,400人であった。
- COVID-19の感染拡大により、日本政府による14日間の隔離、査証の効力停止等の対象となっている。2020年4月21日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いている。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として11月30日から運用が開始された「レジデンスラック」及び「ビジネスラック」は、2021年1月14日、緊急事態解除宣言が発せられて以降運用停止となり、宣言解除後も当分の間は停止が継続されている。自国民の日本からの入国については、14日間の施設での隔離等が求められている。日本への直行便は、7-8月も引き続き大幅な運休・減便であった。

7-8月の主なプロモーション活動

- 7月19日～30日の間、「日本好礼相贈活动进行中(多彩な日本のプレゼントキャンペーンを実施中)」と題したプレゼントキャンペーンを実施した。キャンペーンはWeChatのボトムバナー広告を活用したもので、広告をクリックし、JNTO公式アカウントを新規フォローした方を対象にアンケートを行い、回答者の中から抽選でプレゼントが当たるといったもの。本キャンペーンにより、11,773人の新規フォロワーを獲得、この1年で最もWeChatのフォロワー数が増加した月となった。



WeChat ボトム広告バナー

- 中国ではCOVID-19の感染拡大以降、娯楽やショッピングのオンラインシフトが加速しており、その中でも情報を視覚的に素早く取得できる「ショート動画」が定着している。このような背景のもと、上海事務所では今年2月より、JNTO公式Weiboアカウント上で中国人の訪日意欲の維持・確保を目的に地域の観光魅力を紹介するショート動画を毎月1本配信する取組みを現地職員の発案にて開始している。7月は福井県、8月は徳島県の動画を配信し、福井県の動画では永平寺や越前ガニ、徳島県の動画では鳴門海峡や阿波踊りなどの観光魅力を紹介した。動画の平均視聴回数は約1万回、平均いいね数は54回を記録した。

